



微生物の力で土づくり

コフナ・ソーラー法

太陽熱による
地温上昇

土壌還元状態

有機物・残根の
分解促進

コフナの微生物の
特徴を利用した
地力の回復・レベルアップ方法!

発酵熱による
地温上昇

微生物による
土壌改良

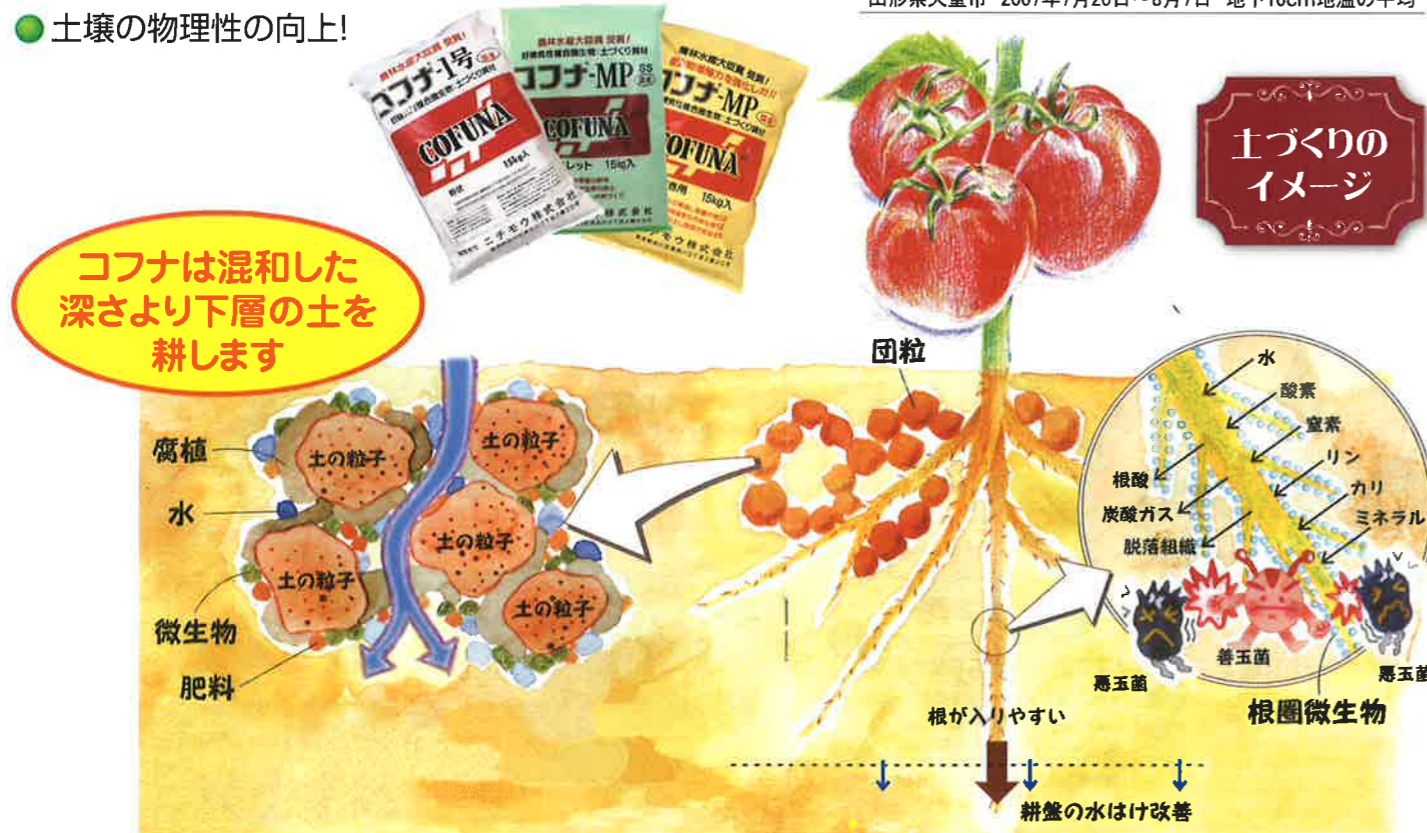
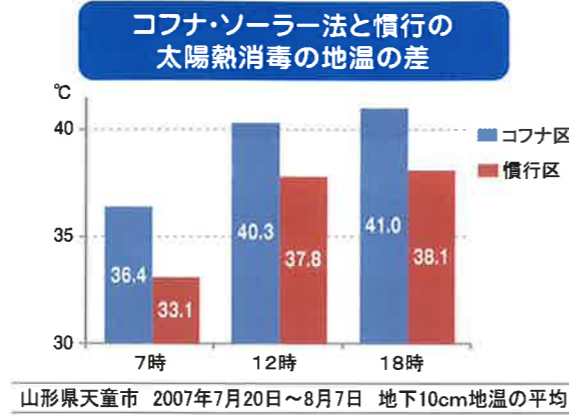
ニチモウ株式会社

コフナ・ソーラー法は「太陽熱消毒法」に「コフナ」を加えて、安定した土づくりを実現します。



コフナ・ソーラー法の特徴・効果

- 太陽熱と発酵熱の2つの熱で地温を上げる。
- 夜間の地温が高く安定する!
深層まで温度が上がりやすい!
- 残根・残さ・未熟有機物を分解し、腐植化する。
- 寄生する病原菌の工サを無くす! 土壌を団粒化!
- 処理後も、微生物は旺盛に繁殖し、微生物層を改善します。
あわせて発根を促進します。
- 土壌の物理性の向上!



コフナ・ソーラー法のポイント

1 水分

最大のポイントは水分含有率で50～60%以上です。
“微生物を働かせる”“熱を伝える”為には水分が必要です。始めに下層部まで水分を与えることにより、最後まで水分を保持しやすくなります。

2 実施中の匂いについて

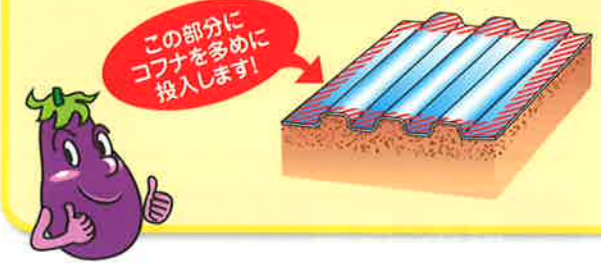
- どぶくさい匂いがする!
問題ありません。(水が少し多い)
- 味噌の匂いがする!
問題ありません。
- 匂いが全く無い!
再度、水分の調整が必要です。

3 温度管理

地表面を被覆するフィルムは必須となります。
施設内部の温度が50度を超えると設備が痛みますので、その場合は、サイド等を開放してください。
又、地域により外張りフィルムがない場合でも可能な場合もありますので、詳細はお問い合わせください。

4 フィルムの被覆外周の温度対策

水が抜けやすく、温度を外に奪われやすいため、**外周にコフナを多めに散布**ください。



5 同時に施用する資材

土づくりを行うためには**腐植が不可欠**になってきます。
易分解性有機物・腐植の基となる炭素質材(植物の繊維)など、複数の**有機物資材の併用**をおすすめします。

6 期間

微生物は十分な水分があれば**温度×期間×工サ**で増加量が決まります。そのためコフナ・ソーラー法の実施期間は、可能な限り長く取ることがポイントとなります。

善玉菌 悪玉菌



COFUNA

善玉菌を増やし、悪玉菌を減らす!

高温・嫌気状態に強い「コフナ」を使った「太陽熱消毒法」の効果です。

薬剤使用

善玉・悪玉菌共に減る

土壌病害の発生圃場

悪玉菌の密度が高い

コフナ・ソーラー法

善玉菌

善玉菌の密度が高い

40°Cでダウン

悪玉菌

高温になってもコフナは死滅しません!

コフナ

安全・簡単・低コスト!

フィルムで被覆をする前に
深さ20cmのところに
水分があるかを
確認して下さい。

コフナと有機質(堆肥等)を散布し、耕耘。

1

元肥を投入する場合は
有機質肥料を中心に
するといいですよ。



ハウス (例)

- コフナ……15~30袋/10a
- 堆 肥……1~2t

露地 (例)

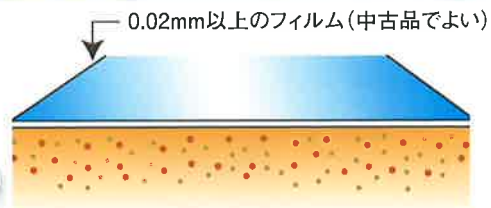
- コフナ……10~20袋/10a
- 堆 肥……1~2t

●茎葉を徒長させないために良質な有機炭素質材を活用します。

散水・被覆

2

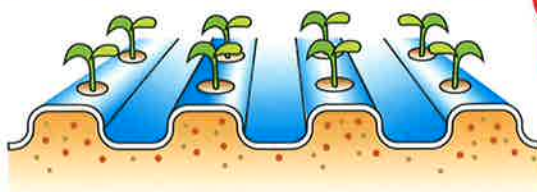
乾燥状態で被覆すると
深い場所の地温が
上がりにくく効果が
少ないですよ。



- 土壌水分は50~60%。握ると水が出るくらいが目安。
- 被覆後、30日以上処理が目安。
- うねを立てた場合より平らのほうが温度が上がり易いです。

定植・播種

3



善玉菌の密度が高い クリーンな活力ある土

地温・水分の確認を行い、
定植・播種して下さい。



●処理後の耕耘は最小限にし、あまり土を動かさないようにして下さい。

ニチモウ株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20

TEL.03-3458-4369

FAX.03-3458-4329

URL:<http://www.nichimo.co.jp/>

<http://www.cofuna.jp/>

E-mail:info@cofuna.jp

●お問い合わせ